



全国クリーニング資材
卸商協同組合
〒101-0047
東京都千代田区内神田3丁目5番5号大同ビル6階
電話03(5295)0136 FAX03(5295)0130
発行人 船木春男 編集人 坂本吉敬

◆クリーニング代の推移 (全国平均)

	ワイシャツ(円)	前年比(%)	スーツ上下(円)	前年比(%)
1996年	223.70	0.2%	1,256.36	0.6%
1997年	227.67	1.8%	1,287.20	2.5%
1998年	229.16	0.7%	1,296.17	0.7%
1999年	228.70	-0.2%	1,294.60	-0.1%
2000年	217.39	-4.9%	1,192.21	-7.9%
2001年	216.87	-0.2%	1,179.01	-1.1%
2002年	215.48	-0.6%	1,169.93	-0.8%
2003年	211.25	-2.0%	1,154.97	-1.3%
2004年	211.14	-0.1%	1,154.73	-0.0%
2005年	210.51	-0.3%	1,149.25	-0.5%
2006年	212.66	1.0%	1,161.85	1.1%
2007年	212.92	0.1%	1,165.23	0.3%
2008年	213.70	0.4%	1,173.20	0.7%
2009年	208.77	-2.3%	1,126.48	-4.0%
2010年	207.28	-0.7%	1,092.14	-3.0%
2011年	205.23	-1.0%	1,077.77	-1.3%
2012年	205.93	0.3%	1,081.41	0.3%
2013年	207.83	0.9%	1,086.86	0.5%
2014年	215.52	3.7%	1,141.77	5.1%
2015年	218.80	1.5%	1,153.64	1.0%
2016年	221.58	1.3%	1,158.33	0.4%
2017年	195.27	-11.9%	1,156.02	-0.2%
2018年	196.06	0.4%	1,175.93	1.7%
2019年	198.98	1.5%	1,211.58	3.0%
2020年	202.21	1.6%	1,247.81	3.0%
2021年	204.88	1.3%	1,271.84	1.9%
2022年	212.10	3.5%	1,328.26	4.4%
2023年	222.05	4.7%	1,413.67	6.4%
2024年	228.74	3.0%	1,473.53	4.2%
2025年	236.15	3.2%	1,552.88	5.4%

※総務省統計局「小売物価統計調査」の都市別の数字を基に
本紙が算出した全国平均
※2024年まで「背広服上下」、25年から「男性用スーツ上下」に変更

25年と19年のク代

全国平均ワイシャツ236円、スーツ1553円

ワイシャツ2割、スーツは3割上昇

総務省統計局の「小売物価統計調査」を基に、本紙が算出した2025年のクリーニング代の全国平均は、ワイシャツが236・2円で、前年と比べると3・2%増、男性用スーツ上下は1552・9円で、5・4%増加した。ワイシャツ、スーツとも8年連続の上昇となる。なお、スーツに関しては2024年まで基本銘柄が「背広服上下」で、25年から「男性用スーツ上下」に改正されたが、大勢に影響はないと思われる。

左表は1996年以降の料金をもとめたもので、オレنجは前年からの上昇を示す(なお、ワイシャツの調査銘柄は2017年にそれまでの「たたみ仕上げ」から「立体仕上げ」に変更されている)。

この間は大半がオレنجとなっており、前年比をよく見ると、各年の伸び率はそれほど大きくない中、2022年以降はきく上がっているが、この統計は都道府県庁所在地及び人口15万人以上の市別にワイシャツと

はグンと高くなっていることが分かる(表の太字部分)。これは、コロナ禍で多くのク代が疲弊した表れであろう。

しかし、24年は上がったものの、その幅は22・23年を下回っており、そろそろ落ち着くかとも思われたが、25年は再び上昇幅が拡大。ク代経営を取り巻く環境の厳しさがうかがえる。

なお、2014年もワイシャツ、スーツとも大ナ禍入り直前であった。また、25年の料金とコロナ前の19年とを比べると、ワイシャツは18・7%(37・2円)、スーツは28・2%(311・3円)もの上昇となる。

■全国81都市で調査
この統計は都道府県庁所在地及び人口15万人以上の市別にワイシャツと

●オレنجは前年からの上昇を示す(ワイシャツは17年よりタタミ仕上げから立体仕上げの調査に変更)

男性用スーツ上下のクリーニング代を調べており、全国平均は本紙が料金の合計を81(都市の数)で割って算出したもの。なお、24年以前も81都市への調査で都市の数に変わりはなく、25年は調査都市が一部変更になっている。

その都市別の表は7面に掲載しているが、25年のワイシャツ料金のトップは、大分の339円で、次位は24年に首位だった北九州の333円。このほか、長岡(330円)、静岡(312円)、鳥取(311円)、新潟(306円)で300円を超えている。

スートのトップは25年も首位だった長岡の2265円。なお、スートの2000円超えは24年の長岡が初めてだったが、25年は広島(2101円)、

新潟(2096円)、北九州(2010円)でも大台突破となった。

■この秋の最賃改定で、今年も多くの都道府県で10月から順次、最低賃金が改定される。全国加重平均はそれまでの1121円から56円(5・0%)引き上げられ、1177円に。そのため、この秋前後にも値上げを行う業者もおり、ク代の目安は年々、「ワイシャツ300円、スーツ2000円」に近づきつつある。

となると、前号1面でも書いたように、これまでよく利用してくれていた「中流層」のクリーニング離れがさらに進むと思われる。従来の価格訴求以外の仕掛けや、新たなメニューの開発が生き残りのカギとなりそうだ。



▲ビジネスウェアが減少する中、もっと取り込んでいきたいのが女性物(写真はイメージ)

KNM GROUP からの新情報提供用ツール

肩貼りニュースレター 500枚単位@1,540円税込

「クリーニングの事をもっとお客様に知ってもらいたい!」そんな思いをもつクリーニング店様に最適のツールが出来ました。毎月1日頃に、新しく更新された「肩貼りニュースレター」がお手元に届きます。(毎月1回新しい情報に更新)これを仕上がった衣類のポリ包装に貼るだけで、基礎的なクリーニング情報をお客様にお教えすることができます。



12月号(お申し込みは11月10日迄)
サイズ:105×148 (はがきサイズ)